

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ 14	
企画名	価値に基づく診療ワークショップ
日時	2017年5月12日（金） 15:00～18:00
会場	第6会場（サンポートホール高松 ホール棟 7F 第3リハーサル室）
企画責任者	大西 弘高（東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター）
定員	36名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>価値に基づく診療（values-based practice: VBP）は、臨床上の意思決定をより系統的に行うために、新たに英国で拓がりつつある方法です。特に複雑事例に対する方針を考える上で、根拠に基づく診療と両輪で視座を提供してくれます。</p> <p>このワークショップでは、価値の多様性を理解すること、価値を引き出すスキルを獲得すること、多職種での議論の重要性を認識することといった目標を達成していただきます。</p> <p>【概要】</p> <p>VBPには、①気づき、②推論、③知識、④コミュニケーション技法、⑤当人中心の診療、⑥多職種のチームワーク、⑦二本の足の原則、⑧軋む車輪の原則、⑨科学主導の原則、⑩パートナーシップという10のプロセスが提唱されています。これらにより、価値の違いに対する相互の敬意を持った関係者により、共有された価値という枠組みにおけるバランスのとれた意思決定を行うことがゴールとなります。</p> <p>このワークショップは、各自の価値を知るためのアイスブレイキング、複雑事例に対する模擬多職種カンファレンスの2部構成となっています。これらの取り組みを通じて、VBPの意義を理解し、各自がそれぞれの現場において多職種カンファレンスを開催する際のヒントを体得していただきたいと願っています。</p>	